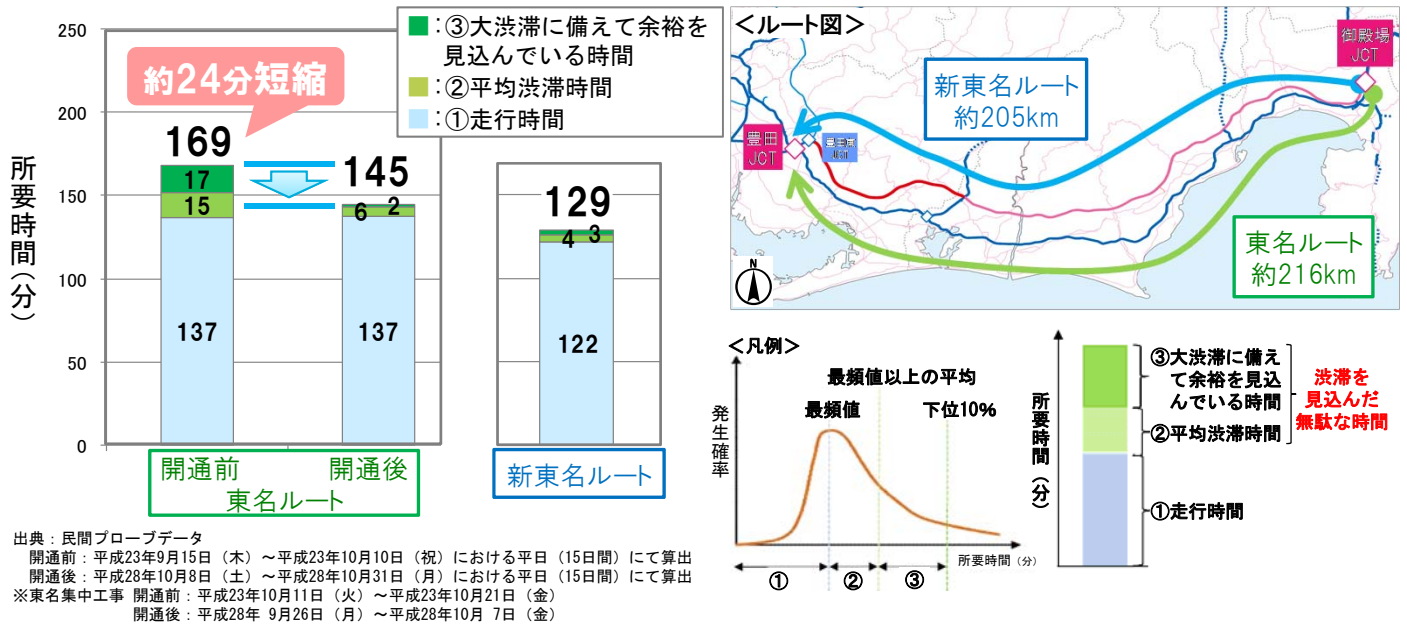


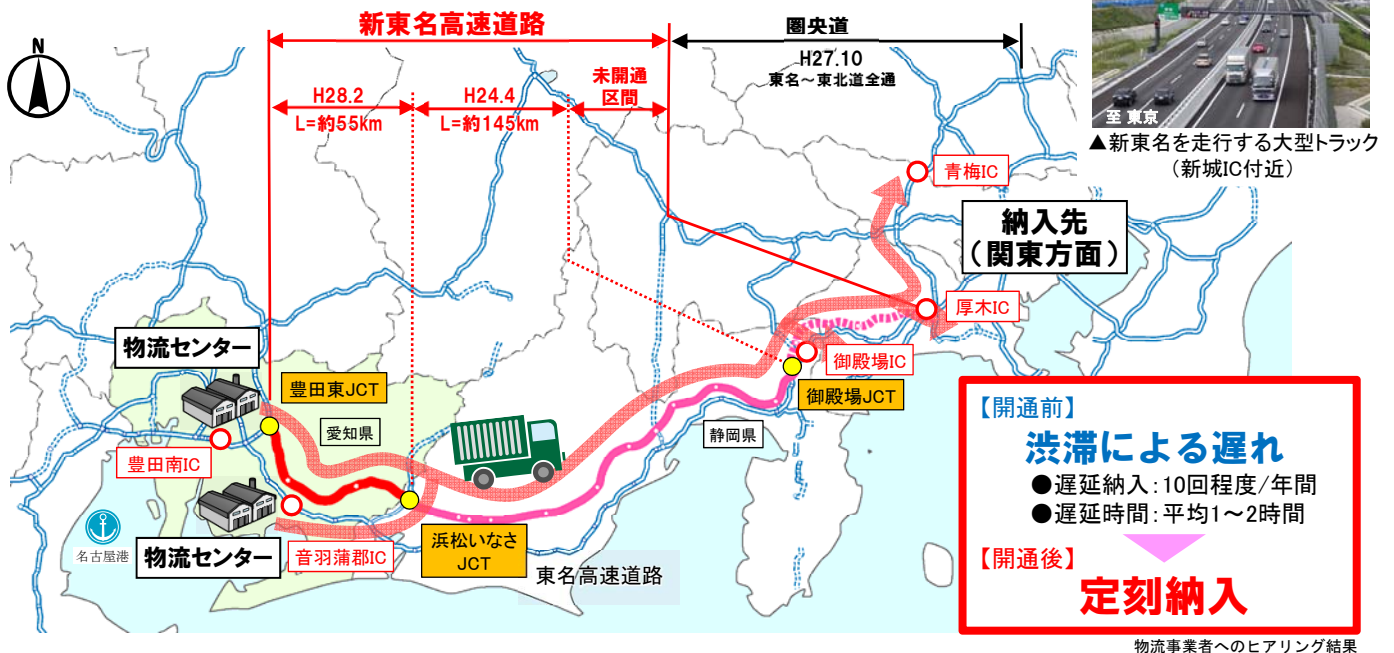
ニホンつながる
新東名 [ストック効果③] 物流における定時性向上

- 東名の所要時間のバラツキが、約24分短縮し、時間信頼性が向上。
- 愛知県から関東方面への自動車部品輸送においては、定時性の向上により、これまでの東名の渋滞による想定外の遅れ（平均1～2時間）が改善との声あり。
- 渋滞を見越したドライバーの早出出勤が削減され、労働環境が改善。

■東名(下り方向:御殿場JCTから豊田JCT)の時間信頼性が向上



■新東名高速・圏央道の開通による自動車部品輸送の定時性向上



- 渋滞が緩和され時間が予測できるようになったため、より確実な輸送が可能となりました。
- 渋滞などを見越した早出出勤（約15回程度/年）が減り、ドライバーの負担が軽減しました。
- 御殿場JCTから関東方面への新東名未開通区間の整備を期待しています。（物流事業者）



出典：ヒアリング調査（岡崎市）